

全校朝会（はしる）

2020. 4. 16

6年生に、「30年度のめあて」を聞きました。

今日は、まず、本を読みます。「おめでとうの1ねんせい」という本の中の「ぼくはいまから」というページです。

ぼくはいまから あきにあるという うんどうかいのことを かんがえて
ときどきしてしまう

ぼくは はしるのが おそい いつも びりか びりから2ばん
うんどうかいはずきじゃない

どうすれば びりにならないか だれも教えてくれない

いっしょうけんめいに はしれば いいんだよって みんながいう
でもね ちょっとね

ぼくは いまから うんどうかいのことが
しんぱいで しょうがない

運動会は大好きな人もいれば、少し憂鬱な人もいると思います。嫌だな…と思う人も、苦手な人も、自分の体が少し軽くなったり走る速さやタイムや順位が上がったりすると、きっとうれしい気持ちになると思います。今日は、走り方教室があります。自分の走り方を見直すいいチャンスです。

教えてくださいるのは、十種競技の中嶋俊文選手です。十種競技がどんなものか、分かりますか。陸上競技には、100m走やマラソンや、ハンマー投げや走り高跳びや幅跳びなど、たくさんの種目があります。その中から同じ人が大会の1日目には、100m走と走り幅跳びと砲丸投げと走り高跳びと400m走の5種目に出て、2日目には、110mハードルと円盤投げと棒高跳びとやり投げと1500m走の5種目に出るのが十種競技です。十種類の違う種目に出るのは、とてもたいへんだと思います。私は、走るの嫌いではないのですが、長く走るの苦手です。でも1つでも参加しないとその後の競技に参加することができないという決まりがあるので、選手はどの種目にも出られるように、いろいろな力を付ける必要があります。ですから、十種競技で優勝した人は、キング・オブ・アスリートとして称えられるのだそうです。十種競技のことを英語では「デカスロン」と言うそうです。大会で十種競技に出ると、21000カロリーも消費すると聞いたことがあります。これは、マラソンを8回走ったのと同じくらいだそうです。とてもきつい競技ですが、選手は魅力もあるよと言っていました。給食も一緒に食べてくださるので、みなさんの素敵な笑顔とあいさつで教室にお迎えし、質問してみてください。走るだけでなく、跳ぶことや投げることも上手なので、跳ぶことや投げることに課題のある人は、そのあたりを質問して教えていただくといいと思います。

是非、この機会にみなさん一人一人が自分の体の力を高め、運動会にも生かしてくれるといいと思います。

ところで、今日、4月16日は、ボーイズビーアンビシャスデーと言われている日だそうです。ボーイズビーアンビシャスという言葉は、「少年よ大志を抱け」と訳されます。現在の北海道大学が札幌農学校と言われた頃に、ウィリアム・スミス・クラーク博士が学生に残した名言と言われ、そのクラーク博士が北海道を去った日が今日なのだそうです。名言と言われる言葉は、たくさんあるので、みなさんも調べてみてください。